

第2回射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議録

○日時：平成27年10月27日（火）午後1時30分～

○場所：射水消防署3階ホール

1. 「第1回総合戦略推進委員会」会議録の確認について

- ・委員からの意見なし。会議録了承。

2. 前回委員会等での意見に対する対応について

- ・事務局より資料説明後に議論。

(委員) 23頁にUターン対策に効果のある奨学金制度の充実を掲げているが、Uターンだけではなく、Iターンの人に対しても奨学金等の助成があると特色が出て良いと思う。Iターン者は地元出身者ではないことから、難しいかもしれないが、検討することは可能か。

研究機関の誘致等に伴い、研究者等がIターンで来ると思うが、研究者は一般的にいくつもの奨学金を受けている人が多いことから、優遇制度があれば研究者が居住地選択をする際に有利に働くのではないか。

(事務局) 奨学金制度の充実についてはこれから詳細を詰めていくことになるが、総合戦略の狙いは人口増対策であるので、今のご意見も含めて検討していきたい。

(委員) 15頁に子育て支援サービス等の充実の一つとして【新】不妊・不育治療費の助成を掲げているが、【新】は現在まったく取り組んでいない事業なのか。既に不妊治療費の助成が実施されていると思うが。

(事務局) 不妊については行われている。不育の部分が新規となる。これらをまとめて【新】とした。

(委員) 不妊治療費助成について、現状では申し込み件数に対して対策費用はかなり少ない状況にあるので、費用の増額に配慮していただきたい。

(委員) 15頁の子育て支援サービス等の充実に関連して、富山市では待機児童が出ているようで、そのため職場復帰できない知り合いもいるが、射水市では待機児童はいないのか。

(事務局) 待機児童はいない状況である。ただ急に応募されてすぐ希望のところへ入れるかどうかは分からない面はあるが、基本的には申し込みを受けて、空いていれば直ぐに対応できる状況になっている。

(委員) 射水市に引っ越せば待機なしで保育園に入れるとなれば、富山市等からの転居者が期待でき、人口増につながる。

第3子以降の保育料無料化を掲げているが、こうした無料化の取り組みは他にも多くあることから、第1子からの無料化は無理でも、せめて第2子以降からにすると特徴がでると思うが、どうか。

(事務局) 射水市では保育料を低くおさえたり、医療費の助成など経済的負担の軽減についてトータルではかなり進んでおり、県内でもトップランナーとして取り組んでいる。これ以上に踏み

込むことは考えておらず、今のものを基本に進めて行きたいと考えている。子育て支援については経済的な支援とともに施設サービスの充実、子育て環境の充実など、総合的な支援対策が必要と考えている。ちなみに、第2子以降から保育料を無料にするとおよそ3億円、第1子からにすると6億円の財源が必要となる。

(委員) 23頁に、市内企業、金融機関等と連携した民間奨学金などの検討が掲げられているが、この具体的な仕組みとKPIはどのように考えているのか。

(事務局) 具体的な制度設計まではできていないが、ファンドを形成しての取り組みを検討している。KPIは、制度設計後に検討したい。

(委員) ファンドは国と自治体が連携してという形になるのか。

(事務局) 国、富山大学、企業などが連携しての取り組みを考えている。

(委員) 21頁に空き家を活用したシェアハウスによる定住促進を掲げているが、空き家のデータベースはあるか。また現在の取り組み状況と今後の対策の見通しについて聞きたい。

(事務局) 各自治会に空き家調査をお願いして、概ねの数値を把握しているが、空き家がすべて活用できるわけではない。空き家バンクについては登録数が少ない。データバンクに登録するよう働きかけていきたい。

(委員) 空き家バンクに登録すると改修費用を手当てする等の支援はあるのか。それともマッチングだけか。

(事務局) 耐震対策、リフォームに関しては助成制度がある。耐震対策で上限60万円、それに合わせてリフォームをすればさらに上限30万円の助成が受けられる。

(委員) 制度設計をして、学生などに活用してもらえるようにしていかないといけないのではないか

(事務局) 20頁に取組みの一つとして、移住・空き家コーディネーターの配置を掲げている。首都圏等へ情報発信などをしながら空き家の利活用を推進していきたいと考えている。

(委員) 21頁に掲げている映画のロケ地を活用した取り組みについては、映画「人生の約束」の来年1月の公開を大変楽しみにしているが、射水市の魅力を全国にアピールできると思うので、この施策を大いに進めてもらいたい。一方でこの施策のKPIとしてロケ地来訪者数の目標を年間5万人としているが、もっと大きくしても良いのではないか。海王丸パークの来訪者についても目標を大きくしてはどうか。

(事務局) 映画の効果については一般的に2年程度と言われていることを考慮して最低この程度という目標値をかかげたものであるが、これ以上を目指してPRしていきたい。

(委員) 映画の公開に合わせて、どのような取り組みをするのか

(事務局) 9月補正予算で440万円の予算化をしており、ロケ地マップの作成など「応援する会」の取り組みを支援しているところである。

3. その他事務連絡

- ・本日の会議をもって人口ビジョン、総合戦略を正式なものとして策定する。
- ・市民には広報とホームページで公開する。
- ・今後の当委員会の協議内容は、KPI等の進捗状況についてとなる。